

慶應義塾に関連した出版物や教職員の新刊著書などを中心に、本に関する情報をお届けします。

約30年間に及ぶパネル調査が  
明らかにする日本女性の実相

『日本女性のライフコース』

—平成・令和期の「変化」と「不変」—

樋口美雄（名誉教授） ほか編

慶應義塾大学出版会／2420円（2023年10月）



日本女性の社会進出を後押ししたのは1986年に施行された「男女雇用機会均等法」、そして99年の「男女共同参画社会基本法」だった。それ以降、平成の長期経済低迷の中で昭和の画一的な「日本女性のライフコース」からの脱却が進んだはずだった。しかし、未だに男女の役割分担など昭和の旧弊が残る部分が多いとも指摘される。本書は「消費生活に関するパネル調査」（93年から約30年間継続）のデータを基に、「結婚・家族」「家事・子育て」「家計」の諸相を各論者が多角的に解説。そこから「何が変わり、何が変らなかったのか」が浮かび上がってくる。

教職員執筆の新刊

◎大西広（名誉教授）著

『「人口ゼロ」の資本論―持続不可能になった資本主義』

講談社／990円（2023年9月）

◎小幡篤次郎著、小幡篤次郎著作集編集委員会編

『小幡篤次郎著作集 第三巻』

慶應義塾大学出版会／5500円（2023年10月）

◎増田真也（看護医療学部教授）ほか編著

『心理学が描くリスクの世界 Advanced―行動的意思決定の展開』

慶應義塾大学出版会／3740円（2023年10月）

◎今井芳昭（文学部教授）著

『チームとリーダーシップの心理学』

慶應義塾大学出版会／770円（2023年11月）

◎宮岡勲（法学部教授）著

『入門 講義 安全保障論 第2版』

慶應義塾大学出版会／2750円（2023年11月）

◎今井むつみ（環境情報学部教授）監訳

『言語の力―思考・価値観・感情―なぜ新しい言語を持つと世界が変わるのか?』

KADOKAWA／2200円（2023年12月）

## 慶應義塾の1冊

『システムデザイン・マネジメントとは何か 第2版』

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科編

慶應義塾大学出版会／2750円

（2023年10月）



最新の技術システムから巨大で複雑な社会システムまで、あらゆる「システム」のデザインとマネジメントを教育・研究対象とする慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント（SDM）研究科。本書では「システムズエンジニアリング」「システム×デザイン思考」「プロジェクトマネジメント」を学問基盤の三本柱として、同研究科の全貌と最前線が紹介されている。初版から7年を経たこの第2版では、これまでのSDM学の研究の展開に最新の技術動向を反映させ内容が大幅にアップデートされている。